

## 臨床研究の情報公開

研究代表者 所属 診療所 職名 言語聴覚士  
氏名 小杉 裕子

このたび、下記の研究を、川崎西部地域療育センター研究倫理委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、利用者のご家族とお子さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨をお申し出下さいませようお願いいたします。

### 1 対象となる方

2010 年 4 月から 2017 年 3 月までの間に、ことばの遅れを主訴として 2 歳、3 歳台で川崎西部地域療育センターに来所され、新版 K 式発達検査 2001 と言語評価を受け、就学前まで当センターを利用されていた方

### 2 研究課題名

- ① ことばの遅れを主訴として地域療育センターを初診した幼児の発達・知能検査結果の推移
- ② ことばの遅れを主訴として来談した 2 歳児の就学前の発達・知能検査の結果  
－言語発達と認知発達の関係と検査結果の推移について－
- ③ 前言語期の段階の児の就学前の発達について

### 3 研究実施機関

川崎西部地域療育センター

### 4 本研究の意義、目的

- ① 2 歳、3 歳台のことばの遅れは、その発達に個人差があるため、その予後について推測することは難しいと考えています。そこで、就学前の発達状態を追跡調査することで、予後推測のための知見を得たいと考えました。本調査は、初期評価の見立てを正確に行うために、役立つと考えます。
- ② ことばの発達は認知発達と関連があると言われていています。①で得られた知見を、認知発達と言語発達の関係に着目して分析することで、より有用な見解を得ることができると考えます。これらの結果は、ことばの遅れを呈するお子さんの支援について理解を深めるものになると考えます。
- ③ 初回検査時に前言語期の段階にあったお子さんを対象に、言語評価の結果と就学前の知的発達の関係について詳細に分析します。言語獲得前後のお子さんの発達の予後の見立てや支援に役立つと考えます。  
なお、①、②及び③において使用する情報はカルテから抽出しますが、氏名、生年月日など個人を特定できる情報は削除し、使用します。

### 5 研究計画書および個人情報の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、研究における個人情報の開示の予定はありません。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

研究は氏名、生年月日など、個人を直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。研究にご質問等がありましたら連絡先までお問い合わせ下さい。また、お子様の情報が研究に使用されることについて、ご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022 年 2 月末日まで連絡先までお申し出ください。この場合も当センターにおける支援・サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

### 6 お問い合わせ先

本研究に対する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

社会福祉法人 青い鳥 川崎西部地域療育センター  
診療所 言語聴覚士 小杉裕子  
電話番号 044-865-2983